



## 山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
 URL:<http://www.mokusankyo.jp>  
 E-mail:[yamawood@mokusankyo.com](mailto:yamawood@mokusankyo.com)

### 目次

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1.積み木配布セレモニー開催!! | 4.あおば会総会開催!!      |
| 2.森林の仕事ガイダンス出席!! | 5.乾燥材生産連絡協準備会開催!! |
| 3.バイオマス証明で注意喚起!! | 6.山形木材業組合総会開催!!   |



## 1 積み木配布セレモニー開催!!

2月13日県の木づかい運動「しあわせウッド運動」ウッドスタートとして、幼少期から木に親んでもらうため、白鷹町の愛真こども園（文屋百合子園長）に地元置賜地域のスギ材を利用した積み木をプレゼントした。駒林農林水産部長が、柔らかくて良い香りの積み木でいっぱい遊んでくださいと挨拶すると園児たちは元気よくお礼の歌を披露してくれた。木産協からは、相田副理事長が来賓として参列した。今回は、置賜地区の製材工場から材の提供を受け、長井市の障



害者就労施設「せせらぎの家」で加工した。園児たちはさっそく積み木を取り出し、自分の身長以上に積み上げたりして遊び始めていた。

また、2月26日は鶴岡市の鶴岡幼稚園（小杉隆園長）にて、庄内支庁沼沢弘幸産業経済部長、木産協からは阿部理事長が出席し庄内地区のスタートセレモニーを開催した。庄内は鶴岡市内の製材工場から材を提供し、大山の障害者就労施設「愛光園」が加工した。今年度は置賜地区、庄内地区で53幼稚園に3月末まで積み木を配布する計画です。

## 2 森林の仕事ガイダンスに参加!!

2月6日山形国際交流プラザ2F会議室にて、平成30年度「森林の仕事ガイダンス in やまがた」が林業労働力確保支援センター主催で開催され、約40名の求職者（緑の雇用対策等一般県民、内学生7名）がお目当ての会社の説明を受けた。木産協からは鈴木専務が出席し、組合活動や組合企業等全般について説明した。組合員からは㈱アイタ工業、安楽城林産(株)、㈱荒正、小林木材(株)、(有)佐藤林産、㈱スペースパーツ山形、東北ウッドカッター(株)、㈱山形城南木材市場の8社が参加した。



### 3 バイオマス証明で注意喚起!! (資源エネルギー庁)

2月25日、資源エネルギー庁はF I T (固定価格買取制度)における木質バイオマス発電で、林野庁の木質バイオマス証明ガイドラインに基づく適切な分別管理を行ったバイオマス(燃料)を調達して使用すべきとの注意喚起を発電事業者に行った。

F I T制度におけるバイオマス発電設備で使用される木質バイオマスについては、木質バイオマス証明ガイドラインに基づく由来の証明により適切に分別管理された木質バイオマスに限り、「間伐材等由来の木質バイオマス」又は「一般木質バイオマス」の燃料区分の調達価格が適用されます。よって、木質バイオマス証明ガイドラインに基づき分別管理されていない木質バイオマスを使用し発電されたF I T電気は、本来「建設資材廃棄物」と同等の燃料区分の調達価格が適用されます。

また、電気利用者の負担により成り立つF I T制度では、電気利用者の信頼を確保するため適切な調達価格が適用されることが重要であることから、木質バイオマス証明ガイドラインに基づく木質バイオマスを使用する発電事業者は、当該ガイドラインに基づき適切に分別された木質バイオマスを調達し、使用する責務があります。しかしながら、平成29年7月4日に総務省より公表された「森林の管理・活用に関する行政評価・監視結果報告書」においては、チップ加工業者等が木質バイオマス証明ガイドラインに基づく証明書を作成しないままバイオマス発電設備に燃料チップを納入する等、不適切な事例が報告されております。

木質バイオマス発電事業者におかれては、燃料チップ等の受入時に、納入された木質バイオマスが当該ガイドラインに基づき由来証明されている物であることなど、十分にご確認ください。なお、由来の証明書の不備等、木質バイオマス証明ガイドラインの不適切な運用による燃料区分の摘要が確認された場合には、F I T法に基づく指導、改善命令の対象となり、また、改善されない場合には、認定を取り消す可能性がありますので注意ください。

### 4 あおば会総会開催!!

2月22日かみのやま温泉「古窯」会議室にて、会員29名が出席し、あおば会総会が開催された。会長の(有)アイタ材木店會田悦陸氏の挨拶から始まり、続けてやまがた中央木材市場社長阿部知行氏が挨拶した。また、来賓を代表して(株)ウンノハウス会長海野林作氏が挨拶した。来賓として木産協理事長と専務、県産木材利用センター専務が出席した。議事では事業報告と収支決算、事業計画と予算書案はともに承認された。また、役員改選の件は、全員留任で承認された。



### 5 乾燥材生産連絡協議会準備会開催!!

2月19日メトロポリタン山形5F会議室「ちとせ」において、木産協で乾燥材動態調査に協力いただいている企業20社にご案内し、賛同を得た13社が出席した。最近、乾燥材の需要が高まり賃乾燥を依頼する場面が増え、他社の取り組みや動向等について、意見交換をしたいという要望があり開催したもの。意見交換の場面で、協議会組織まで必要かどうかは1年程度準備期間を設けて決めたいとの意見が多かったため、今年度は準備会として、意見交換会を年2回程度開催することとした。



## 6 山形木材業組合総会開催!!

2月18日山形市亀松閣において、2019年山形木材業組合（組合長：鍋倉利樹）通常総会が開催された。来賓として、山形市長、県議、市議の他、木産協からは阿部理事長が出席した。議事は、事業報告と収支決算、事業計画と予算書案はともに承認され、役員改選については、会長以下全員留任で承認された。

## 7 SDGsとは!!

2月1日「木と住まいの大博覧会」のシンポジウムで、東京大学名誉教授村上周三氏（内閣府：自治体SDGs推進評価・調査検討会座長）がSDGs（エスディーゼーズ）の基調講演を行った。SDGsとは2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で世界193か国が合意し、2030年までに「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」達成を目指す17分野の国際目標。日本では、地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮らしや社会を営むための、政府・自治体、非政府組織、非営利団体だけでなく、民間企業や個人などにも共通した目標としている。具体的な目標・ゴール等事例については、木材産業会では、健康分野：健康住宅の推進、教育分野：次世代に向けた優れた学校建築、エネルギー分野：省エネ建築の推進、まちづくり分野：住みやすいまちづくり、森林分野：木造建築の振興等などがあげられます。2018年6月には全国で29都市がSDGs未来都市の指定を受け、本県からは飯豊町が指定されています。



## 8 森林経営管理制度

2月15日村山総合支庁2F講堂にて森林経営管理制度等に係る市町村林務関係課長等会議が林野庁担当を招き県内から約110名の担当者等の参加で開催された。林野庁森林整備部計画課首席森林計画官箕輪富男氏の説明で、主に市町村が4月から担当すべき業務等について、「森林経営管理制度の事務の手引き」等利用して解説した。また、現在国会審議中の森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の概要等も含め、意見交換を受けた。

## 9 「専門職大学を山形に！」プロジェクト県知事要請

2月12日県庁5階501会議室にて、農林関係団体による設立趣意書を知事に手交しプロジェクトの立ち上げについて説明のうえ、専門職大学の設置検討を要請した。趣意書では、林業においては、オール山形で「やまがた森林ノミクス」による林業振興と地域活性化に取り組んできている中で、新たな森林の適切な経営管理を促す森林経営管理制度が4月から開始されます。農業においては、昨年11月に「全国農業担い手サミット in やまがた」が開催され、競争力が強く魅力ある産業として持続的に発展するたくましい農業と日本の豊かな未来の創造を目指すことを宣言しています。折しも政府において、農林業をはじめとする専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を育成するため、専門職大学制度が創設されたところです。このため、県内各界各層の有志が力を結集し、世界を俯瞰しつつ、農林業を通じた地域活性化に貢献できる人材の育成機関として、日本を代表する専門職大学の山形への設置に向け、「山形の、そして日本の農林業を牽引する専門職大学を山形に！」プロジェクトを立ち上げ、その実現を目指すとして設立趣意書で強調されております。プロジェクト設立有志代表には、一般社団法人山形農業会議会長五十嵐直太郎氏、山形県農業協同組合中央会副会長折原敬一氏、山形県森林組合連合会代表理事長佐藤景一郎氏とし、山形県

会長細野武司氏、山形県木材産業協同組合理事長阿部昭氏らが同席した。知事は各業界の皆様の意向は理解できた。県としても実現に向けて積極的に努力していく決意を示した。全国的には、静岡県が県立農林環境専門職大学（仮称：4年生）を平成32年度に開学する準備を進めている。

## 10 3月以降の行事予定

日程	行事名	予定出席者
3. 1	全木連 J A S 個別実証現場視察（天童市）	専務
3. 4	全木連平成31年度事業説明会（東京）	専務
3. 7	山形県普及推進会議（寒河江市）	専務
3. 7	マルカ林業「協力会」（新庄市）	統括
3. 8	県立農林大学校卒業証書授与式（新庄市）	理事長
3. 11	地域材利用拡大連携推進協議会（山形市）	理事長他
3. 18	林業経営体説明会（村総2F講堂）	専務
3. 19	山火事防止連絡協議会（村総2F講堂）	専務
3.19-20	全木連理事会・事務局長会議（東京）	理事長・専務
3. 22	県木材産業等高度化推進協議会（山形市）	専務
3. 26	県木材産業成長化事業計画検討委員会（山形市）	専務
4. 4	県庁新年度挨拶廻り（新課長、部長等）・三役会	理事長他
4. 16	素材生産部会総会・祝賀会（山形市）	理事長他
4. 24	木産協理事会（山形市）	理事長他
4. 25	県森林協会理事会（山形市）	理事長
5. 24	木産協総会（山形市）	理事長他

## 11 日本百名山シリーズ紹介（石鎚山）

松山市からレンタカーで土小屋ロッジまで移動し、そこから往復する。手前からロープウェイで中腹の神社まで登るコースがメインのようだ。10月初旬に登ったので少し紅葉が始まっていた。西日本一の高峰がこの石鎚山 1,982m天狗岳で奥には南峰が見える。ちなみに天狗岳山頂はこんな形で片側は崖となっている。手前の弥山には石鎚神社が岩にへばりついている。メインコースでも山岳信仰の山だけに鎖場が3か所、長く急な岩場が続き、振り返ると結構スリル感を味わえる。迂回路もあり、弥山までは家族でも登れそう。ただ一般客はここまで、この先山頂まではやせ尾根の岩稜地帯が



く難コースとなる。写真のとおり垂



石鎚山 天狗岳

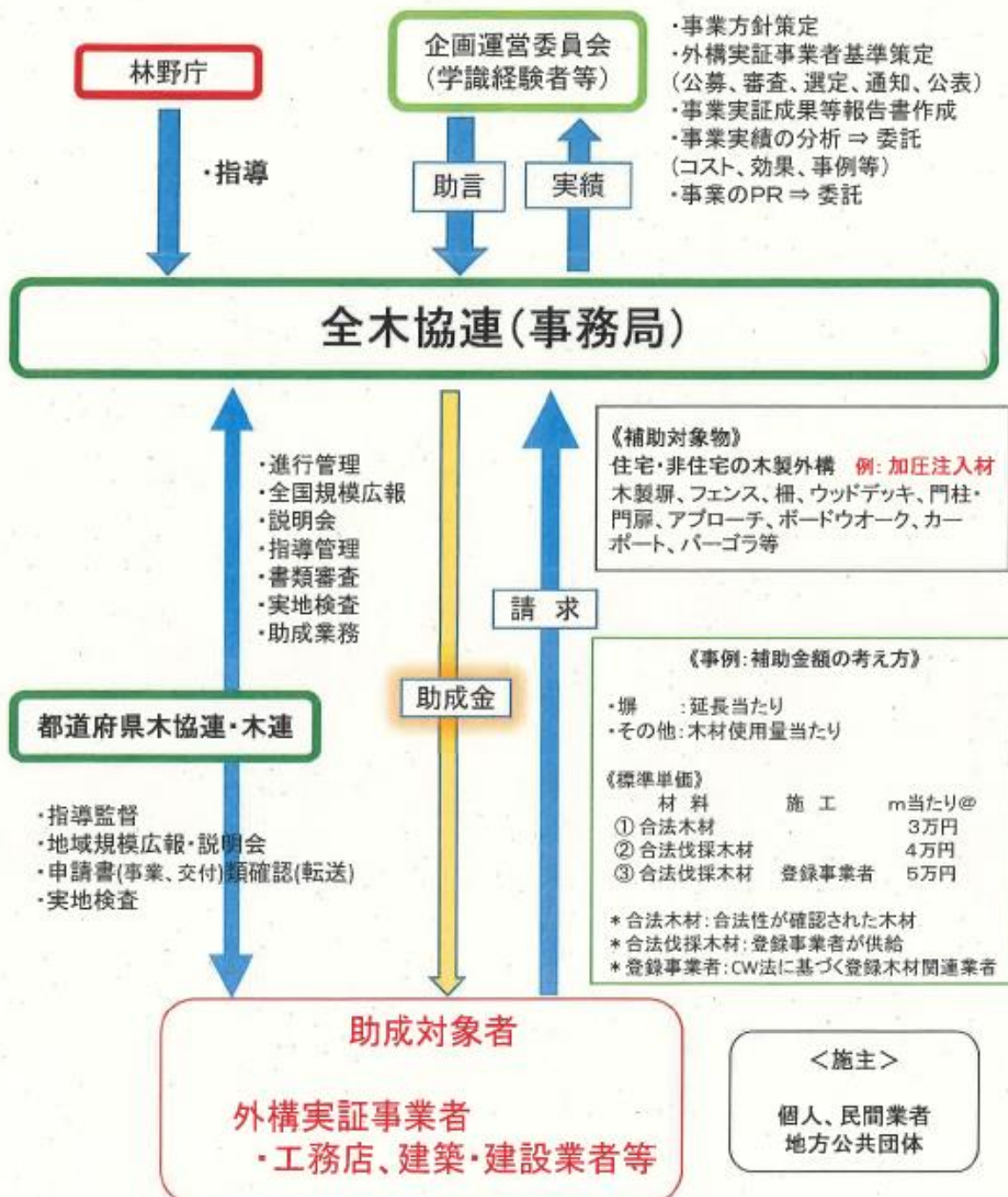
直に近い岩場が200mほど続き、四国地区のロッククライミングのメッカとなっているらしい。山頂で邪心を払った後は、道後温泉まで下り、坊ちゃん気分で湯につかり、お決まりの地酒三昧で眠り込む。なお、四国にはもう一つ剣山という百名山があり、車で2時間程度にて移動できるので併せて登ると経済的でもある。こちらも山岳信仰の山であり、四国はお遍路さんや登山者、龍馬人気で観光客の多いところと感じた。もちろん、本四連絡橋3コースも見どころのひとつです。

## 12 全木連等からのお知らせ (詳細は4月に仙台で説明会開催!!)

### 平成31年度木材関連新規事業等のお知らせ (速報版)

- ・木製塀の実証事業 (合法木材を使用した塀や外構部の木質化の実証支援：下記)
- ・JAS構造材利用拡大事業 (目視等級区分もOK、構造材以外も一部OK)

### 平成30年度補正外構部の木質化対策支援事業 事業実施体制図



# 13 1月期の住宅着工状況

平成31年1月期の県内新設住宅着工戸数は223戸となり、対前月比32.4%、対前年同月比62.3%、前年累計比62.3%となった。全般的に前年比・累計比とも大きく減少している。木造率は89.2%で、貸家・分譲住宅の大幅な減少が原因である。平成30年次総数は高水準。

## 1 県内新設住宅着工戸数(平成31年1月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
5月	433	239	144	4	46	426	7	368	85.0%	248	7	113
6月	674	366	247	1	60	674	0	545	80.9%	389	14	142
7月	469	321	104	0	44	467	2	419	89.3%	302	8	109
8月	513	257	205	0	51	479	34	410	79.9%	275	16	119
9月	556	315	190	0	51	546	10	476	85.6%	336	24	116
10月	541	298	173	3	67	537	4	495	91.5%	341	12	142
11月	493	275	165	0	53	489	4	438	88.8%	297	12	129
12月	688	263	204	0	221	684	4	422	61.3%	254	6	162
31.1月	223	128	37	1	57	220	3	199	89.2%	163	7	29
対前月比	32.4%	48.7%	18.1%	-	25.8%	32.2%	75.0%	47.2%	-	64.2%	116.7%	17.9%
対前年同月比	62.3%	92.1%	21.8%	50.0%	121.3%	61.8%	150.0%	63.0%	-	89.1%	175.0%	22.5%
30.1~当月計	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
31.1~当月計	223	128	37	1	57	220	3	199	89.2%	163	7	29
対累計前年比	62.3%	92.1%	21.8%	50.0%	121.3%	61.8%	150.0%	63.0%	-	89.1%	175.0%	22.5%

## 2 地域別新設住宅着工戸数(平成31年1月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	223	223	62.3%	62.3%	199
山形市	88	88	83.8%	83.8%	85
上山市	4	4	80.0%	80.0%	4
天童市	36	36	112.5%	112.5%	26
山辺町	3	3	300.0%	300.0%	3
中山町	4	4	200.0%	200.0%	4
東南村山	135	135	93.1%	93.1%	122
寒河江市	8	8	32.0%	32.0%	7
河北町	3	3	150.0%	150.0%	3
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	0	0	-	-	0
大江町	1	1	-	-	1
西村山	12	12	44.4%	44.4%	11
村山市	3	3	150.0%	150.0%	3
東根市	9	9	81.8%	81.8%	9
尾花沢市	0	0	0.0%	0.0%	0
大石田町	0	0	0.0%	0.0%	0
北村山	12	12	60.0%	60.0%	12
村山地域	159	159	82.8%	82.8%	145
新庄市	3	3	300.0%	300.0%	2
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	0	0	-	-	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	0	0	-	-	0
戸沢村	0	0	0.0%	0.0%	0
最上地域	3	3	100.0%	100.0%	2
米沢市	11	11	122.2%	122.2%	4
南陽市	6	6	85.7%	85.7%	6
高畠町	10	10	500.0%	500.0%	9
川西町	1	1	100.0%	100.0%	1
東南置賜	28	28	147.4%	147.4%	20
長井市	1	1	4.2%	4.2%	1
小国町	0	0	-	-	0
白鷹町	0	0	-	-	0
飯豊町	0	0	-	-	0
西置賜	1	1	4.2%	4.2%	1
置賜地域	29	29	67.4%	67.4%	21
鶴岡市	19	19	44.2%	44.2%	18
三川町	1	1	-	-	1
庄内町	3	3	300.0%	300.0%	3
田川	23	23	52.3%	52.3%	22
酒田市	9	9	12.0%	12.0%	9
遊佐町	0	0	0.0%	0.0%	0
飽海	9	9	11.8%	11.8%	9
庄内地域	32	32	26.7%	26.7%	31

注:累計は平成31年1月~